



湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2021年6月18日(金)
例会 第2838回

天気：くもり
合唱：それでこそロータリー

ロータリーは機会の扉を開く

会長 山本明峰
幹事 佐藤友彦

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

会長挨拶

どこまで続く泥濘ぞ、コロナウイルス蔓延して早1年半が過ぎました。こうした状況下、却って好調な業界もあるようですが、私どものような冠婚葬祭イベント業・・・お叱りを受けそうなネーミングですが、外見の目立った業態だけ見れば、まあそんなところかと・・・は軒並み大打撃を受けた状況のようです。特に年会法要などは不要不急と言えないこともないわけですから。私は今の事態を絶好の好機と捉え、これまで中々手を付けられずに放っておいたことを、何でもかんでもコロナ禍に託けて、着々と実行に移しております。中身はもちろん内緒ですが、こんな機会でもなければ本腰を入れて取り組みなかつたらう事ばかりですね。まさに災い転じて福となす、となれば言うことなしなんですが、なんだか泥舟に乗って流れに棹さしながら進んでいるような予感もない事はありません。

第9グループガバナー補佐より
1. 第9グループ「世界ポリオデー」について
第1部：ポリオ撲滅募金活動
日時：10月9日(土) 10時～11時30分
場所：小田原駅・箱根湯本駅・湯河原駅・開成駅
第2部：ポリオ・コロナ撲滅祈願祭
日時：10月9日(土) 14時～
場所：箱根神社

連絡事項 なし

スマイルBOX

6/18～24

なし

幹事報告

ガバナーより
1. 2022年ヒューストン国際大会のご案内資料が届きましたのでお送りいたします。
2. 2021-2022年度 地区ロータリー財団セミナー及び補助金管理セミナーのご案内
日時：7月17日(土)
受付開始 12:30
R財団セミナー 13:00～
補助金管理セミナー 15:30～
場所：アイクロス湘南 6階「会議室」
対象者：次年度クラブ会長、次年度クラブ R財団委員長
又は代理の方のいずれか1名

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 0名	会員 25名
	欠席 6名(免除者2名)	前回の修正出席率 63.64%
	出席率 82.61%	前々回の修正出席率 86.96%

事前メイクアップ 0名

世界大会に出席して

このような題目で卓話を行うということは、以前であれば世界のどこかの会場に赴き、その道すがら色々な場所を訪れるというのが定番だったと思います。しかしご承知の通りコロナ禍によって、世界大会はいわば「世界同時視聴セミナー」になってしまったといえます。とはいえ、傍目にも急ごしらえ感が強く出ていた昨年のホノルル大会と比べ、今年は元々オンライン開催が見込まれていたこともあってか、質の高いコンテンツの提供が期待され、不肖私もこのタイミングで世界大会デビューを果たすことにしました。

さて、すでに世界大会に参加されたことのある方には当たり前の話だと思いますが、世界大会はメインのセッションと友愛の家、ラウンジや各種インフォメーションで構成されています。参加方法は簡単で、登録料を振り込めばログインのためのパスワードが届き、コンテンツを閲覧することができる仕様です。今回、会期中は個人的に多忙で、見て回れたものはかなり限られてしまったのですが、いくつか報告させていただきます。

1. 本会議

本会議は初日「振り返りの機会」、中盤「成長する機会」、最終日「奉仕する機会」の3セッションで構成されていました。各セッションは閲覧開始日時が設定されていて、開始日時以降はオンデマンドで見ることができました（次回大会まで閲覧可能です）。本会議ではフランス語やスペイン語などととも日本語もサポートされていました。

初日「振り返りの機会」では、これまでのロータリーの歩み、エバンストンの本部の様子などが紹介されていました。私のように世界大会デビューを果たしたロータリアンにとっては、とても優しい内容だったと思います。また、先日山本会長がお話されていた「ロータリークラブとローターアクトを同格に位置付ける」「オンライン例会を推奨する」といった事柄も語られていました。

総じて伝わってきたメッセージは、たった数年前までの「対面を前提としたミーティングやカンファレンス」はもう実現し得ない時代に入ったとロータリー本部は考えているということです。そのことは新たな重点目標「環境」の設定、東南アジア地域への注目といった、既に設定されている具体的なキーワードからも十分に推し量れるものです。

翻って、わが国日本は長年アジアの盟主と呼ぶに相応しい存在感を放っていましたが、近年のアジア各国の勃興により、相対的にその影響力が減退する事は避けられない状況にあります。このような国の中にあるロータリークラブは、それこそ他の国のクラブ以上に、ロータリーが示す方針の徹底した遵守が求められる立場にあるのだらうと感じます。とはいえ、次年度の世界大会（ヒューストン）はこれまで通りの開催が予定されているようですので、最終的な方針としては、オンライン、オフラインを適切に取り入れた「ハイブリット開催」が主流になることでしょう。

2. 分科会

会議は本会議のほか、各分科会も設定されていました。今回はいくつもあった分科会の中で、個人的に来年度の地区に関与することとなっている「ポリオ」に関しての分科会を視聴しました。ただ、分科会は残念ながら、日本語のサポートがありませんでした。こういったところにも存在感の低さが表れて・・・と言いたいところですが、世界大会なのでこれは仕方のないところです。ですのでわかったところだけお知らせします。

ポリオ分科会では、まずポリオウィルスの発生状況の最新のレポートが行われました。ウィルスの発生状況に関しては既にIDSC（感染症情報センター）やロータリーが提供するサイトでも詳しく語られていますが、現状を非常に簡単に述べると、感染者数はさらに減っているということです。現在、ポリオウィルスの感染事例が確認されているのはわずか2カ国（アフガニスタン、パキスタン）、それもこの1年で急激に減少していることが報告されました。まさにエンドポリオは目前といったところです。

しかし話は残念ながらこれでは終わりません。ポリオ流行には、いわゆるワクチン由来のポリオウィルス流行への対処という課題が残されています。方向性は正しいながら、その活動が真のエンドを迎えるのはもう少しだけ先になりそうです。またそのことを正確に伝える必要がこれからのエンドポリオに関する活動では必須であると感じました。

3. アクティビティ

コンテンツでは他にも写真の撮影やラウンジコーナー（ロータリーグッズの販売もあり）もありました。先ほどポリオに関してお話ししましたので付け加えますと、大会に合わせてのアプリ「エンドポリオのバーチャル5キロウォーク」がリリースされていました。期間中に5キロのウォーキングを行い、そのタイムを競いながらポリオの啓蒙に努めていこうという趣旨です。一応アプリはダウンロードしましたが、結局時間がなかったのでエントリーは諦めました。ちなみに1位のタイムは5キロ15分台でした。箱根駅伝の大学生が平地で計時する目安のラップタイムが1キロ3分ですから、5キロ15分となるとはやランではないかと思ってしまいましたが、このアプリにとって少しでも利用者やその周辺の皆さんに興味を与えられればよいわけですから、数字にケチを付けるのは野暮というものでしょう。他にはヨガや瞑想、DJつきダンスパーティーも設定されていました。

4. 総評

以上、初参加の世界大会は自宅で始まり自宅で終わるという形になりました。言うまでもないことですが、世界大会で最も必要、最も思い出として残るのは世界の人との交流です。今大会でも交流ラウンジは用意されていましたが、文字だけでのやりとりがせいぜいであり、それ自体は言葉の壁以上に大きな壁があるように思います。とはいえ、こういった時代にロータリーも私たちも適応していかなければなりません。よくよく自然界は弱肉強食と言われますが、実際のところは適者生存と言われます。人間界と自然界を同一ラインで語ることは難しいですが、これからの時代における適者となるために、ロータリー活動と同時に私たち自身の考え方や活動を磨き上げて行かなければならないのだろうと感じました。

